



2018年 年頭所感

公益社団法人 東京屋外広告協会
会長 大久保 秀夫



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、2017年は様々な出来事がありました。特に国内では引き続きアベノミクスのさらなる加速を掲げ第4次安倍内閣が発足しました。本年は日本経済再生に向けて人手不足の克服とともに人口減少対策や地方創生への実現などの政策が迅速に進められることを期待したいと思います。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催まであと2年となりました。現在2020年に向けて東京都内各地で整備が進められ、それぞれの街の姿が新しく変わりつつあります。年々増え続ける訪日外客は年間約2400万人を越え、東京都には約1,300万人が訪れております。これまで以上に海外から注目を集める東京のあるべき姿とは首都東京にふさわしい景観を持つ風格のある都市ではないかと思ひます。

なかでも都市の風景において重要な要素であります「屋外広告」は経済活動の伝達と人々の息遣いを感じる都市文化形成という2つの側面を持っています。そして今日までその役目を果たしてまいりました。

これからも大きな時代の変化に伴い新しい形の広告が創出されることがあると思ひます。当協会といたしましてはそのような機会を生かせるように会員の皆様と力を合わせ、各方面と協力しながら様々な場面で活動することができるように努めてまいりたいと存じます。

2018年が皆様にとりまして、ますます飛躍の年でありますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(東京商工会議所副会頭 ・ 株式会社フォーバル会長)

新年特集

◇「ヒュッゲの国」 2頁

株式会社電通 古谷勇司

◇「新型車両導入で、脚光を浴びた車両デジタルサイネージ」

4頁

株式会社オリコム 吉田勝広

各区の情報

◇港区の「屋外広告物の事前協議」の開始について

6頁

会議報告

◇平成29年度第2回理事会

7頁

◇委員会報告

8頁

屋外広告の9月の売上高

9頁

赤い羽根共同募金のお知らせ

9頁

新会員紹介

10頁 11頁

日本のサインと空間デザイン

12頁

事務局だより

12頁

あなたの未来を、カタチに。



株式会社フジサワ・コーポレーション

藤澤工業株式会社 株式会社ローヤルカラー 株式会社サワダ

<http://www.fujisawa-corp.co.jp>

本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1丁目10番地8号
コマーシャル・イメージング事業部 TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

ヒュッゲの国

株式会社電通 第4CR プランニング局

クリエイティブ・ディレクター 古谷 勇 司

ヒュッゲ (hygge) このちょっと不思議な響きの言葉、耳にしたことがありますか? 「人と人とのふれあいから生まれる、温かな居心地の良い雰囲気」という意味の、他の国の言語では置き換えることが難しいデンマーク人が大切にしている言葉です。今、世界的に注目されている言葉でもあります。そんな「ヒュッゲの国デンマーク」に訳あって行ってきましたので、レポートしたいと思います。

日本とデンマークは、世界でも歴史の長い皇室・王室を有する国ということもあり、長きにわたり友好関係を育んでまいりました。2017年は両国が外交関係を樹立して150周年にあたり、節目の年なので多くの記念事業が行われました。その内の一つとしてデンマークの古都ヴィボーでは、アニメ・ゲームフェスが開催されました。私はキャラクター開発にけっこう多く関わってきたので、海外の知人からの紹介もあって参加することになりました。役目の一つ目は、広告的発想のキャラクター開発の方法と事例についてスピーチ。二つ目は、日本



とデンマークのアニメ・ゲームの中堅作家による作品コンペティションの審査です。このコンペティションは国立大学が主催と運営をしています。栄えある受賞者には、様々な援助と国際的なデビューのチャンスが与えられます。デンマークでは一般的に子供は18歳で親から独立しますが、望めば大学に無料で通うことができます。また、医療費も無料であるなど福祉は充実していますが、やはり税金は高くして所得税55%ぐらい消費税25%です。

デンマークは1865年に戦争に負けて肥沃な土地を奪われました。しかし、領土奪還の戦いより、残された土地を最大限に活用する小国主義を選びました。「外に失ったものは内に取り戻す」と言うスローガンのもと、まず荒れ果てた原野や沼地に植林し冷害と水害を防止しました。そして、数多の努力の末に、畑作や畜産業を盛んにすることができたのです。更に今では広い牧場や海岸線に

人が通う。心が、かよい合う。

交通メディアのトータルプランニング

Advertising Agency

SHUNKOSHA

株式会社春光社

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-5 TEL:03-3538-9320 (代) <http://www.shunkosha.co.jp/>

沢山の風車を見かけることができます。これは風力発電のためのものですが、なんと国内で必要な電力の110%をつくり出すことができるそうです。また、高級食器のロイヤルコペンハーゲンやアルネ・ヤコブセンの建築・家具はとても有名です。昔から、付加価値を生むデザインに力を入れてきたのです。レゴも片田舎の街ビルンで生まれました。ロングセラー商品であり子供から大人まで楽しめる知的オモチャ、とてもデンマーク的ですね。



スピーチと審査の役目を終えてヴィボーの街を散策しました。すると、とてもガーデニングが美しい公園に出くわしました。でも、石積みの塀が妙に閉鎖的で不思議な感じがしたので、後で現地の人に聞いたら墓地でした。お店は土曜でも夕方5時には締まってしまうのでネオンが煌めくことはありません。看板のデザインも極めて控えめです。それに、寒くて日照時間が短く雨も多いですから、家で過ごすことが多くなります。暖炉で暖まり、愛情を持って使い込まれた家具に囲まれろうソクを灯します。そして、家族やごく親しい友人と会話や食事をしてゆっくり過ごすのです。でもろうソクは倒れたりすると危険なので、最近では本物そっくりに揺らめくろうソク型LEDを使うことも増えてきたそうです。私も早速探してお土産に二つ買いました。また、中型以上の大きめの犬を多頭飼している家庭が多いのですが、躰がばっちりできているので吠えたりじゃれつて来たりしません。まさに、ペットと言うより家族の一員という感じです。食事はスモーフローと呼ばれるオープンサンドイッチが有名です。いろいろな具があって美味しいですが、その他の料理も日本人の感覚からするとやはり素朴な感じがします。



デンマークは世界幸福度ランキングで一位です。私たちが幸福を感じて暮らしたいものですが、その秘訣は「期待値を上げない」「選択肢を減らす」「他人と比較しない」とされています。全てが過剰な日本では実践が難しそうですね。でも、今年は昨年よりちょっと「ヒュッゲ」な時間を増やしてみる。これならできそうですね？

**地域コミュニケーションは、
良質なメディアで。**

●電柱広告●交通広告●屋外広告●広告企画

株式会社
東 広

広告代理店

本 社 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル5階
Tel.03(3546)1050(代) Fax.03(3546)1060

町田支社 〒194-0013 東京都町田市原町田3-8-12 網倉ビル3階
Tel.042(728)1235(代) Fax.042(722)6915

埼玉営業所 〒336-0963 埼玉県さいたま市緑区大門3700
Tel.048(690)4600(代) Fax.048(812)1116

ホームページ <http://www.toko-ad.co.jp>

新年特集

新型車両導入で、脚光を浴びた車両デジタルサイネージ

株式会社オリコム OOHメディア局 シニアディレクター

デジタルサイネージコンソーシアム 理事 吉田 勝 広

ここ2年ほど前から、首都圏の鉄道各社が続々と新型車両を導入している。各社に共通するのは新型車両にはデジタルサイネージが設置されるという点だ。元来、広告ありきではなくあくまで業務用の表示装置として乗客に必要な情報をタイムリーに伝える手段として採用されているものだ。最近では増える外国人観光客向けに多言語で表示ができるのもメリットだろう。

最近の新型車両で代表的なのが2015年11月JR山手線に



写真1. 山手線E235系の車内



写真2. 西武鉄道40000系（筆者撮影）

導入が開始されたE235系だろう。車両内部にはドア上の「JR TRAINチャンネル」以外に「まど上チャンネル」や「サイドチャンネル」など多くの新しいデジタルサイネージの広告商品が搭載された。（写真1）無くなると思われていた紙の「中づり」が広告媒体として搭載されていたことを多くのメディアが取り上げ話題にもなった。乗客や広告主ら関係者の意見も踏まえ判断したと報道されていたが、安堵した業界関係者は少なくなっただろう。一方、紙のまど上広告は無くなり、まど上チャンネルとなったが、編成数が増える

につれ、これも人気媒体となっている。従来車両のまど上ポスターとセットとした枠もあるが、まど上チャンネルだけの枠が価格も低く山手線だけできるということで需要が増え繁忙期には売り止めになっているほどだ。

2017年3月には、西武鉄道の新型車両40000系（写真2）も2編成運行を開始した。ドア上部分や貫通部分にもサイネージはあるがこの時は紙の中づりはすべてサイネージに置き換えられて無くなっていた。（写真3）有料の着席指定列車であるS-トレインで運用されるため、クロスシートで進

あらゆるニーズに応えます。

都営交通広告会

お問い合わせは

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-5 京橋スクエア
株式会社 春光社内

TEL 03-3538-9320(代) FAX 03-3538-9220

行方向に座る点を考慮して中づくり位置のサイネージ媒体を開発し導入したとのことだった。しかしその後、3編成目以降は紙の中づくりが復活している。

同じく3月には東京メトロの日比谷線13000系(写真4)、7月には日比谷線に乗り入れている路線で東武鉄道の70000系、9月には京王電鉄の5000系など続々と新型車両が導入された。

2018年春には相模鉄道の20000系、東急電鉄の2020系が



写真4. 日比谷線13000系 (写真提供: 東京メトロ)

は落ちなかった。JR東日本のJRトレインチャンネルは2016年度まで14年連続で、東京メトロのTokyo Metro Visionは8年連続で広告需要が伸張している。メディア環境の変化から、テレビの補完媒体として電車内のデジタルサイネージの相対的価値が上がっての人気と言えよう。一方で「首都圏11社局中づくりドリームネットワークセット」という首都圏の民鉄11社局共同の中づくりセット商品が、2016年10月からの1年間で42枠も販売したように、アナログ媒体も売り方次第で伸びる要素がある。本来ライバル関係にある交通広告の媒体各社が、業界一丸となってメディア間の競争を勝ち抜いていくことが必要だと協業の試みをし、それに多くの広告主が応えたという点は注目すべきことだろう。

現状複数の広告主が順番に放映する形式を取る車内サイネージと違って「自社の広告がいつも出ている」といったアナログ広告の特長を好む広告主がいるのも事実だ。鉄道各社はICカードの全国相互利用や運輸面で相互乗り入れを行っているが、広告面でも相互運用が始まっているとも言えるのではないだろうか。



写真3. 西武鉄道40000系の車内 (筆者撮影)

田園都市線に、都営地下鉄の5500形が浅草線に導入される予定だ。

新型車両が全編成導入されるまでのペースは段階的で、各社路線毎に違うが決して速くはない。2017年3月10日に新型車両への置き換えを完了した東京メトロ銀座線は、約5年かかっている。その間、車内サイネージの媒体(東京メトロビジョン)は、他路線含め車両数が増え広告料金も順次値上げされたが、媒体が認知され広告効果も上がり需要

企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる
ビジュアルニーズに応える総合コマーシャルラボ。

デジタルの美しさを、人へ、街へ。

- 銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
- 屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

IGG 株式会社 ラボ・銀座
東京都中央区日本橋箱崎町20-13
TEL. 03-5614-4440 〒103-0015

各区の情報

港区の「屋外広告物の事前協議」の開始について

港区は、平成 21 年 6 月に港区景観条例を施行し、景観行政団体となりました。その後、景観形成に関する総合的な計画として、区は、「港区景観計画」を策定し、建築物等について事前協議を行い、良好な景観誘導に積極的に取り組んでいます。

屋外広告物は、景観形成において重要な要素となることから、「港区景観計画」において、表示等に関する配慮事項を定め、平成 27 年 12 月の計画改定時には、その配慮事項を拡充し、表示に際して一定の配慮をお願いしてきました。

この度、「港区景観計画」に定める配慮事項について、構成要素別や種類別、地域別の 3 つの視点から、図版や写真を用いて解説する「港区屋外広告物景観形成ガイドライン」を策定しました。合わせて、屋外広告物についても積極的な景観誘導に取り組むため、「港区景観条例」を改正し、平成 30 年 4 月から事前協議を開始します。

屋外広告物の事前協議書については、東京都屋外広告物条例の許可申請を行う 15 日前までに提出が必要となります。事前協議では、「港区屋外広告物景観形成ガイドライン」や、屋外広告物や景観に関する知見を有する専門家（景観アドバイザー）の助言を活用しながら、景観誘導を図ります。詳細については、港区ホームページ「景観・風致」でご確認をお願いします。



屋外広告物の事前協議について

●対象範囲 港区全域

●協議対象となる屋外広告物

良好な景観形成に影響を与える恐れがある物として、表示・掲出に一定の制限が課され、下記の①及び②に該当するものを事前協議の対象とします。

①東京都屋外広告物条例の規定による許可の申請が必要な屋外広告物

「表示又は設置」・・・都条例第 8 条、第 15 条、第 16 条又は第 30 条第 1 項に規定する許可

「内容の変更又はその改造若しくは移転」・・・都条例第 27 条第 1 項に規定する許可

②広告塔、広告板、小型広告板、電柱・街路灯柱の利用広告、標識利用広告、装飾街路灯等
(原則として、建築物若しくは工作物に附帯するもの及び土地に定着するものに限る。)

●協議書の提出時期

東京都屋外広告物条例に基づく許可申請の 15 日前まで（平成 30 年 4 月 1 日以降に許可を受ける行為が対象となります。）

※協議による変更を加味し、出来る限り早い協議書の提出をお願いします。

●協議事項

屋外広告物の規模・位置、形態・意匠、色彩、照明・光など

※周辺との関係性や、建築物の形態・意匠・色彩との調和、屋外広告物のデザインに関する協議です。

港区 街づくり支援部 開発指導課 景観指導係

〒 105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 電話 03-3578-2232 FAX 03-3578-2249

平成29年度第2回理事会開催

70周年記念事業などを審議

10月19日、丸の内二丁目ビルにて東京屋外広告協会平成29年度第2回理事会が開催されました。今回は6月の改選後の新メンバーによる最初の理事会となりました。

開会にあたり、大久保会長から、「衆議院議員選挙で街中は何かと落ち着かない日々となっております。まずは国民や企業の中に漂う将来不安を払拭し、わが国の将来に資する政策が進められることを期待したいと思います。」などの挨拶がありました。

理事会の審議に入る前に2020年まであと3年ということから東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会企画財務局 アクション&レガシー部 アクション&レガシー担当部長 朝香博氏より講演があり全体概要についての説明を受けました。

理事会は理事20名（全理事数25名）、監事3名の出席を得て大久保会長の議事進行により会議が進められ、まず10月6日に開催された総務委員会で検討した理事会に因る事項について間宮総務委員長より報告がありました。

今回の審議ではまず3件の新規入会の会員が承認され、次に平成30年10月に完成する新東京商工会議所ビル内に東京屋外広告協会の事務局が移転することから、東京商工会議所から提示があった事務所の面積13.4㎡、位置、家賃などについて事務局から説明があり検討の後承認されました。



(50年、60年記念誌)

2017年は当協会の70周年にあたることから記念事業の予算、進め方、内容について審議しました。まず10月6日に総務委員会で検討した案について間宮総務委員長及び事務局より説明がなされました。予算は約300から400万円規模になることから、予算確保のため70周年記念事業特別会費として会員に来年度の上期会費請求時に1万円の協力をお願いすること、式典開催時期は新東商ビル完成に併せて平成30年（2018年）度内に実施できるように速やかに進めること、具体的事業内容は事業委員会で検討し総務委員会と協力しながら進め、来年3月の第3回理事会にて報告することとなりました。

引き続き、業務執行状況報告、そして「後援・協賛等名義使用の承認に関する内規」を設けることなどについて事務局より報告の後、高村副会長から閉会挨拶があり第2回理事会は滞りなく終了しました。

The Visual Communication Company

キングブリントーグ株式会社
www.kingprinting.co.jp

□ 東京支社 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目5-8 西新橋一丁目川手ビル4F ☎03(3503)6700

委員会報告

70周年記念関連の事業などを検討

第2回理会上程事項を審議

総務委員会（委員長：間宮泰三 常任理事・協立広告会長）が10月6日に協立広告株式会社社会議室にて開催されました。間宮委員長の開会挨拶の後、10月19日開催の第2回理事会にて審議する内容等について協議しました。今回は70周年記念事業の予算、内容、進め方についての審議の他、平成30年10月に完成予定の新東商ビルへの事務所移転についてなどの審議をしました。また当日東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の担当者による東京オリンピック・パラリンピックの全体概要の講演についても了承されました。

70周年記念式典の時期と内容について検討

事業委員会（委員長：大塚尚司 常任理事・オリコム社長）が10月24日に株式会社オリコム会議室にて開催されました。今回は東京屋外広告協会主催のセミナー、講演会などの実施について協議しました。まず、大塚委員長より挨拶があり、事務局よりこれまでの実施状況と本年度の企画案の説明の後、本年度のセミナーについては東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、いずれ屋外広告関連の状況などについての説明を聞く必要もあることから、時期を見ながら開催を検討することとなりました。また理事会で決定した70周年記念事業については、新東商ビル完成後の東京商工会議所や東京會館の会場の使用が可能なのは2019年1月からであることから、同年東京屋外広告コンクールの実施スケジュールを考慮し、開催日を1月の方向で検討することとなりました。この時期は各業界では新年賀詞交換会が数多く開催されることから、慎重に開催日を調整し、内容については、講演会と式典など講師も含め引き続き検討することとなりました。

業種・商品の表示、アルコールやたばこ等の取扱いの明記を検討

車体利用広告等デザイン審査委員会（委員長：福山達雄 常任理事・日広通信社社長）が12月8日に丸の内二丁目ビル会議室で開催されました。福山委員長の挨拶の後、協議に入りました。今回は業種・商品の表示、とりわけアルコールやたばこなどについて、関係法令や各業界の自主基準などを参考に整理し、取り扱わないとの明記について審議しました。その他日頃のデザイン審査に関する問題点などの協議が行われました。

今の時代の70周年記念誌について検討

広報委員会編集小委員会（委員長：稲川一 常任理事・文宣社長）が12月20日に株式会社春光社会議室で開催されました。まず、平成30年新年号の内容について確認した後、会報にて70周年記念誌を作成することから、その内容、進め方などについて議論を行いました。



東京の“ど真ん中”に情報発信

東京地下鉄広告会

【事務局】
〒105-0003
東京都港区西新橋1-6-21
NBF虎ノ門ビル4階
株メトロアドエージェンシー
媒体本部 媒体管理局 管理部内
TEL 03-5501-7835
FAX 03-3593-6150

屋外広告の9月の売上高 10.8% 減少

特定サービス産業動態統計調査9月確報(平成29年11月16日)より

平成29年11月16日に経済産業省から「特定サービス産業動態統計調査」9月の確報が発表されました。9月の広告業全体は前年同月比4.2%減の5,062億円、4媒体が2.5%減少の1,610億円、屋外広告は51億円の同10.8%減で3月から7ヶ月連続の減少となりました。この要因にひとつに昨年のリオ五輪の反動が影響したようです。一方で交通広告は161億円で1.3%増、インターネット広告は607億円で3.8%増となりました。

(単位:百万円)

区分	9月売上高	構成(%)	前年比(%)	区分	7～9月売上高	構成(%)	前年比(%)
4媒体広告合計	161,057	31.9	97.5	4媒体広告合計	467,031	33.3	96.3
屋外広告	5,137	1.0	89.2	屋外広告	14,704	1.0	91.2
交通広告	16,128	3.2	101.3	交通広告	47,440	3.4	101.8
折込・ダイレクトメール	51,610	10.2	95.1	折込・ダイレクトメール	149,658	10.7	94.1
海外広告	4,917	0.9	100.4	海外広告	13,709	0.9	78.6
SP・PR・催事企画	75,883	14.9	85.4	SP・PR・催事企画	191,999	13.7	94.5
インターネット広告	60,768	12.1	103.8	インターネット広告	165,412	11.8	107.0
その他	130,750	25.8	96.0	その他	352,771	25.2	103.4
合計	506,251	100.0	95.8	合計	1,402,724	100.0	98.9

経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」9月確報(29.11.16より)

※4媒体は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ

※数字は調整されています。(詳細はホームページ:経済産業省⇒統計⇒統計表一覧)

～皆様と福祉をつなぐ共同募金～

昭和22年に国民総たすけあい運動として始まった「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご協力に支えられ、今年で71回目を迎えます。

皆様のお気持ちが、サービスを必要としている人々に確実に届くよう、共同募金会は活動しています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

★寄付が出来る自動販売機★

飲み物を購入すると自動的に寄付が出来る自動販売機の設置を進めています。社会貢献の一環として休憩室などへの設置をご検討ください。

※会社などの法人の寄付金は、指定寄付金として、全額損金算入できます。

社会福祉法人 東京都共同募金会 TEL03-5292-3182

HP <http://www.tokyo-akaihane.or.jp>



赤い羽根共同募金

屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業

NAGATA

長田広告株式会社 東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町7-2 古賀オールビル6F

Network事業部 Tel.03-5643-6480 Fax.03-5643-6476 交通事業部 Tel.03-5643-9330 Fax.03-5643-9331

新会員紹介

人と企業と社会との独創的コミュニケーションを創造します

株式会社大阪オリコミ

この度、貴協会に加盟させて頂くことになり、諸先輩方の長年のご活躍に敬意を表すと共に、厚く御礼申し上げます。

私共は、「人」「企業」「社会」との絆を育み、地域に愛され共に発展することを目指される企業のパートナーとして貢献していく事を最優先に、1941年設立以来76年間 社業を進め、常に現場第一主義を貫き、メディア企画力をさらに強化し、スピーディーかつ的確な情報、サービスを提供していく事で独創的なコミュニケーションを生み出してまいりました。また、1986年により多くのお客様のお役に立てるよう東京支社を開設し、首都圏での営業活動を強化いたしました。

私共は各企業の販売促進活動に直結したSP広告に特化し、とりわけ交通・屋外広告の分野で今までになかったメディアを数多く開発させて頂きました。また、近年交通・屋外広告分野ではデジタル化が進み、電車内や駅、街の様子が大きく変化している中で、当社もいち早く広告のデジタル化に対応するためにオリジナルデジタル・サイネージを設置し、「お客様第一」の創業の心に徹して「オリジナリティ」に一層磨きをかけてきました。

今後も生活者視線に立ったより良い「ヒューマン・コミュニケーション」を問い続け、お客様のご期待にそえる真のパートナーとしての信頼を獲得していくとともに、地域のさらなる発展に寄与できるよう精進を重ねてまいります。

今後ともご厚誼、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



大阪地下鉄なんば駅に設置したアクアリウムとショーケース

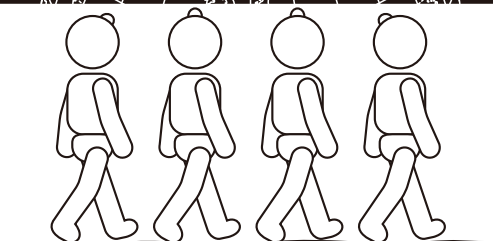
お客様だけの、お客様のための広告物を、周辺景観にマッチして、創造する

アポロ広告株式会社

弊社は、交通広告（駅広告）屋外広告の代理店として、1976年に創業、1983年に法人化設立しました。平成以降は、ロードサイン（ビル屋上・ビル壁面・自立型）を中心に屋外広告業に特化し、東京都・千葉県を中心に関東一円にわたり広告主の屋外広告展開に協力しております。

我が社の業務は、広告主のための、屋外媒体（屋外広告物）の企画、設計、開発、製作請負、管理です。地方自

進化するOOH。 メディア開発力のNKB。



つい見てしまう。なぜか気になってしまう。
そんな広告を作りませんか？
生活者の行動を捉えるプランニング力と、
最新技術を取り入れたメディア開発力で、
御社のプロモーションを強力にサポートいたします。

INTERACTIVE COMMUNICATION
NKB INC.

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル
TEL.03-3504-2100(代)
<http://www.nkb.co.jp/>



治体・行政への許可申請や、広告物の危険防止、安全点検も含みます。広告物の安全設計は特に重要なことであるため、この観点から、屋外広告物製作者全国組織（日広連）に参加し（1991年）、製作には細心の注意をはらっています。

近年、ロードサインを必要とする広告主の業種は多岐にわたり、その要求する導線経路や導線形態も一つとして同じものはありません。日々新しい発想をもって臨まないと、競争にうち勝てない時代になりました。この観点から、お客様だけの、お客様のための広告物を、周辺景観にマッチして、創造すること、を我が社のモットーとしております。

さてここに、長年にわたり東京の屋外広告の美観・活性化に多大なお力のあった東京屋外広告協会に参加を求められ、誠に光栄でございます。実績、力量において桁はずれに圧倒的な会員様ばかりですので、大いに学ばせていただきます。2020年東京五輪・パラリンピックを控えたこの時期を機に、より一層の努力を誓っております。何卒、ご指導とご支援をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

高品質な表現を追求し、常に新しいものを開発し、提案

株式会社フォトクラフト社

私どもフォトクラフト社は、昭和36年の創業以来、大型グラフィック製作を専業としてまいりました。創業より半世紀以上に亘り、屋外広告業界はじめ多くの実績を納めさせて頂いております。これもひとえにご縁を頂いた皆様方からのご支援故と厚く御礼申し上げます。

創業時は、テレビスタジオ背景等、銀塩写真技術を駆使し様々な表現方法を追求しニーズに応じてまいりました。昨今では、高精細の最新インクジェット機器も増設し、これまで銀塩写真製作で得た技術や、モノづくりに対する姿勢、感性をベースに、インクジェットプリントに於いても、高品質な表現を追求し、常に新しいものを開発し、提案させて頂いております。

屋外広告の様々な用途に対し、常に提案する姿勢を忘れずに、単なるグラフィック表現で満足することなく、その先にある「価値」を大切にモノづくりに臨んでおります。プリントメディアにつきましても、“防災・減災”、“環境負荷軽減”という視点から、業界に先駆け「不燃素材」のGFシリーズを拡充させ、あらゆるシーンに最適な素材と表現方法をご提供させて頂いております。特に公共性の高い屋外広告に於いては、防災・減災対策といった要素は大変重要になっており、期待も高まっております。そのような弊社の取り組みもご評価いただき、不燃メディア・GFシリーズも多くの実績を納めさせて頂いております。

この度、貴会への加入のご縁を頂くことができました。会員の皆様には厚く御礼申し上げます。皆さまと共に屋外広告業界を盛り上げていけるよう取り組んでいく所存でございます。引き続きのご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※弊社、東京本部1階はショールームとして公開しております。（予約制）



Energy of Communication

広告もeCO時代へ。

あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。

KYORITZ
ADVERTISING AGENCY

協立広告株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:<http://www.kyoritz-ad.co.jp>

日本のサインと空間デザイン

ヒカリノタビ〜文化が彩る 栃木への誘い

2017年10月20日、21日に栃木県庁昭和館の壁面にプロジェクションマッピングによる「ヒカリノタビ〜文化が彩る 栃木への誘い」が上映されました。当日は台風21号の接近により雨模様の天気でしたが、会場には2日間で12,000人（栃木県発表）と多くの人々が訪れ、音楽に合わせて次々と展開される栃木県の自然、祭り、歴史的建造物などのダイナミックな映像が映し出される空間で栃木の文化を体感するひと時となりました。



出典 月刊 Signs & Displays 2017 年 11 号（マスコミ文化協会発行）より

事務局だより

◆会議・行事等報告

第2回総務委員会

10月6日（金） 13時30分～14時30分 協立広告 会議室

第2回理事会

10月19日（木） 14時30分～15時30分 丸の内二丁目ビル

第1回事業委員会

10月24日（火） 14時～15時 オリコム会議室

第2回車体利用広告デザイン審査委員会

12月8日（金） 13時30分～14時30分 丸の内二丁目ビル

第3回編集小委員会

12月20日（水） 13時30分～14時30分 春光社

◆会議・行事等予定

第1回広報委員会

2月中

第1回広告物振興委員会

2月中

第3回総務委員会

3月上旬 13時30分～14時30分

第3回理事会

3月16日（金） 14時～15時 丸の内二丁目ビル

第3回車体利用広告デザイン審査委員会

3月中旬以降 丸の内二丁目ビル

お悔やみ 小野博之氏

小野博之氏（株式会社東京システック相談役）が平成29年11月15日にご逝去されました。享年77歳。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日本サイン協会（旧名称・全日本ネオン協会）副会長、関東ネオン業協同組合副理事長を歴任され、当協会では平成11年第1回から26年第9回まで東京屋外広告コンクール審査委員、23年から25年まで車体広告デザイン審査委員会委員を務められました。また機関紙「TOAA REPORT」で平成23年から26年の3年間、世界各国のサインなどを紹介する『サイン紀行』を連載されました。

<http://www.ad-nikko.co.jp>

伝えることが仕事です。



総合広告代理店
株式会社日広通信社

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521(代) FAX.03-3263-3509

サイン・ディスプレイ/POP制作

電柱・交通広告/マスメディア

デザイン・印刷物・販促プランの提案

展示会トータルプロデュース

出展ブース企画・運営